

八高古墳発掘調査進捗報告！

第5号 令和7年3月 最終号

八高古墳発掘調査 調査完了。

7月に始まった発掘調査も一旦2月末で終了しました。最後の調査区はB区(3号館・学生会館の南側)でした。ここでも古墳の周溝と葺石を確認しました。その結果、調査区内で確認された西側の周溝は70m以上にもおよびましたが、残念ながら調査区内では西の周溝の全貌をつかむことはできませんでした。周溝はさらに北に延びていると思われます。

八高古墳発掘調査では、渡り土手の存在、古墳の本来の規模を知る手がかりである葺石の確認、周溝内から出土した多量の埴輪など、多くの成果を得ることが出来ました。令和7年度には、今回の発掘調査で調査することが難しかったB区の一部についてキャンパス整備工事での掘削時に追加で調査を行う予定です。また、発掘調査の整理が始まり、調査成果をまとめていくことになります。



調査区全景